

地区別意見交換会(塩野室地区) 記録(概要)

開催日時	平成31年1月22日(火) 午後7時00分 ~ 午後8時28分		
開催場所	小林公民館 大会議室		
出席議員	粉川昭一(代表者)	斎藤久幸	福田悦子
	阿部和子		
参加者数	13人 (傍聴者)石塚小林公民館長		
報告内容	地域のことを教えてください！		
市民意見	議員意見		
塩野室地区の大きなイベントとしては、体育祭(67回開催)がある。近年なかなか人が集まらないが、歴史あるイベントの火を消さないよう頑張っている。競技よりも地区の人たちがふれあうことを大切にしている。もう一つ、敬老会に代わるイベントとして「あったか交流会」を3年前から始めた。これら2つのイベントを地域づくりの核にしていきたい。獅子舞は下小林と沢又で開催されている。			
	「あったか交流会」とはどのような催しなのか。		
小林公民館で開催する地区のお祭りで、主催は社会福祉協議会。射的や食事などの出店をいくつか出して、地区住民の出会いの場を提供し、交流してもらう。			
	一人暮らしの高齢者などが参加できるような工夫はあるか。		
福祉タクシーを用意して送迎を行っている。			
	素晴らしい取り組み。獅子舞など伝統文化の継承の工夫は。		
小林の獅子舞は小林3区と4区の「下小林獅子舞」だが、後継者不足が心配される。幅を広げて「小林獅子舞」にしてはどうかとの意見も出ている。沢又は35世帯ということで人がいない中で、一人何役もこなしながら獅子舞を何とか行っている。小林や沢又といった枠を取り払って行わないと、持続が難しいのではないかと考えている。			
	自分は日光地域に住んでいるが、東照宮のお祭りも今までの町内では子どもが少なく、東照宮のお祭りに出る町内を広げて広域的に行わないと開催できない。		
	昔は小中学校の児童生徒数も多かったと聞か。		
1学年3クラスあったので、小中学校で600人くらいいた。小中学校合同の運動会は1000名くらい集まった、地区の一大イベントであった。			
	地域の皆さんの努力で獅子舞が守られていると思う。自分の地域ではどんど焼きなど地域行事がどんどんなくなっている。		
塩野室地区では育成会主催でどんど焼きを行っていたが、育成会ではできなくなり、自治会の主催で行っている。それでも12集落中6集落でしか行われていない。塩野室町でも育成会でどんど焼きができなくなり休止していたが、8年前に自治会主催で復活させた。自治会主催となってからは日中に行っているが、それでも参加者の減少は否めない。小林4区も10年ほど前からは自治会主催で日中の開催となっている。育成会の行事も広域化しないとならない時代になってきたのかもしれない。			
	子どもの安全面の観点から、夜の開催がなくなり残念に思う。		

市民意見	議員意見
	<p>ここにお住まいの方が気付かなくても、我々がき聞くと驚く話がたくさんあった。自分の自治会は400名ほどいるが、100名集まる行事などない。</p>
<p>少ない地域だからこそ、人が集まる。塩野室地区の特色としては、全員が全員の顔と名前、家族構成までも知っているところだと思う。</p>	
<p>今市地域の中で唯一この地区には鉄道がない。お店もないので夜になると人がいなくなる。少し前までは高校の学区は宇都宮で、我々の世代は殆どが宇都宮の高校に通っていた。仕事も宇都宮に行っている人が多い。車が無いと何もできない。各自治会にゴミステーションが1か所しかないの、ごみを出すのも車。もっとゴミステーションを設置できないわけではないが、少ない人数で多くのゴミステーションを維持することができない。高齢者が暮らしにくい地域である。デマンド交通が導入されれば良いのだが。</p>	
	<p>足尾地域では「足尾の足を考える会」が発足し、地域交通に対して市と協議していくことになった。</p>
<p>自治会だけでは地区のまちづくりに対応しきれないので、新たに「まちづくり委員会」を設立し、デマンド交通や市道・農道の整備、その他生活に関わる区市への要望等を自治会単位ではなく塩野室地区としてまとめ、順位付けをしていこうということになった。</p>	
	<p>地元でまとまってそういった組織を立ち上げるとはすばらしい取り組み。</p>
<p>執行部から出た問題は、すぐ地元を下ろしてほしい。議会の議決後に地元説明があっても対応のしようがない。地元でも知恵を出すので、事前の相談があれば、時間がかかっても行政課題を解決できるのではないかなと思う 今日の意見交換会に関しては、議会事務局から地域振興課をとおして自治会に話がくれば、スムーズに事が進んだと思う。チラシが回覧されたが、なかなか目にとまらなかったのだと思う。</p>	
<p>まとめると塩野室地区は道路網、デマンド交通、学校の問題が大きな課題だと思う。</p>	
	<p>地域公共交通は重要な課題と捉えている。デマンド交通の導入も切実な問題と感じた。</p>
<p>今日の話を持ち帰って何か対応してくれるのか。</p>	
	<p>地域の実情をまず知ることが今日の目的。議会全体で持ち寄った情報を共通認識し、地域課題に関する議会の取り組みに活かしていく。</p>
<p>班としての総括・所感</p> <p>班から成果として出された意見は、「地域課題が見えた」、「ほかの地域に行くことが出来た」、「議員の生の姿を伝えることが出来た」、「地域の特性を知ることが出来た」、「地域で努力され、苦勞されている事が理解できた」、「少子高齢化による課題が見えたが、知った後が問題である」等が述べられました。</p> <p>塩野室地区の意見の中で、「祭りを始めとした地域行事の持続が、担い手不足により困難であり、少子高齢化による影響を大きく受けています」とのことでありました。そのため自治会だけで地域のまちづくりに対応することが困難になっているようです。</p> <p>その対応策として、塩野室地区の各自治会の連携により、県・市への地域からの要望を「塩野室地区」として発信できるように、新たに「まちづくり委員会」を設立したそうです。</p> <p>塩野室地区の新たな取り組みは、地域行事を含め、「各自治会の連携による地域づくり」に取り組むことであり、今後市内各地域の参考になるのではないかと考えます。</p>	